## 特定供給設備の技術上の基準に関する説明書 (バルク供給を除く)

特定供給設備所在地	
貯 蔵 能 力	kg

		T	1					
項	1	条 項		対	応	事項		
		規則53条		法 定	実 際	緩和の必要性		
保 安 距 離	1号イ	第1種	m for					
		2号イ	第 2 種	m	1	有 無		
		1号口	   障 壁	□ コンクリート	・フ゛ロック 🗆	鉄筋コンクリート		
保安距離緩	和		17 -		(			
	1.6	2号口	□地型					
		<b>4 1</b>						
火	Ī.	1号ハ 2号ホ	火気との跗	巨離 m 隔雪		※ 図面添付		
		2万 小		 必要面積(	) m²	※ 図面添付		
滞留防止措	置	1号ニ	独気	実際面積(	) m <sup>2</sup> (			
	tata.	1号 ホ	+# \/ <del>+</del>	□ ボンベ小	·屋	□ フェンス		
さく・へい	2号 ト	構造	□その他	(	) ※ 図面添付			
 	票	1号へ	□ LF	ガス特定供	給設備			
<b>音</b> 双 1	示	1 7 1	□燃		<b>火気厳禁</b>	□ 販売所の名称		
   防消火設備	昔	1号 ト						
		2号ム	□散力			※ 図面添付		
屋根又は遮へい		1号チ	材料		)	<b>※</b> 図面添付		
転落転倒防.		1号リ	方法(			)		
容器腐しょく防	止	1号ヌ	□ 排7	水の良い場所	所に設置			
保安物件の密集	集	2号ハ	□貯村	曹を地盤面	下に埋設。			
			□貯槽	室 □ 乾炒	操砂 □ 水沒	৳ □ 強制換気		
   貯槽地下埋設		2号 二	□ その他 (					
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	□ 貯槽の頂部は30cm以上地盤面から下にあること。							
				曹間距離(		m)		
				法 定	実 際	緩和の必要性		
貯槽間距離	2号へ	距離	m		有無			
				賁霧装置				
	Ŕ	2号 チ			である旨の表			
使用材料	<u></u>	2号 リ	┃ □ 使月	用材料は適工	Eなものであ	ること。		
腐しょく・割れ等	<b>芝</b>	2号 ヌ	□貯料	曹には使用」	上支障のある	腐しょく、割れ等がな		

一切	腐しょく防止措置	2号ル	腐しょく防止の方法 ( )
耐 圧 ・ 気 密 2号 ワ 及び常用の圧力以上の圧力で行う気密試験に合格するものであること。	不同沈下の防止	2号 ヲ	じないものであること。
内       厚       2号 カ       いような肉厚を有するものであること。         圧力計・安全弁       2号 ヨ       圧力計・安全弁の設置         加田 部       2号 タ       一般報面がら() m         財権の頂部から() m       一般報助の確額() m       か期的状況の手動式の止め弁の設置         バルブ 2号 ソ	耐圧・気密	2号 ワ	及び常用の圧力以上の圧力で行う気密試験に合格する
加出管開口部 2号 夕	肉    厚	2号力	
放出管開口部   2号タ   地盤面から( ) m   貯槽の頂部から( ) m   液面計の種類( ) ( ) 破損防止措置	圧力計・安全弁	2号 ヨ	□ 圧力計・安全弁の設置
液 面 計       2号 レ       □ 破損防止措置 □ 自動式及び手動式の止め弁の設置         パ ル ブ       2号 ソ       □ 2以上のバルブを設け、一は貯槽の直近に設けること。         緊 急 遮 断 装 置       2号 ツ       操作場所( ) 距離 m         冷却用散水装置の設置操作位置距離 m ※図面計算書添付操作位置距離 m ※図面計算書添付       m ※図面計算書添付         瀬えい検知警報器 2号 ナ 検知箇所 ※図面添付       節所 ※図面添付         静 電 気 の 防 止       2号 ラ □ 貯槽には、静電気を除去する措置を講すること。         □ 開閉方向の明示	放出管開口部	2号 タ	□ 地盤面から ( ) m
パ ル フ 2号 ツ	液 面 計	2号 レ	<ul><li>□ 破損防止措置</li><li>□ 自動式及び手動式の止め弁の設置</li></ul>
<ul> <li>冷却用散水装置 2号 ネ □ 冷却用散水装置の設置 操作位置距離 m ※図面計算書添付 操作位置距離 m ※図面添付</li> <li>静電気の防止 2号 ラ □ 貯槽には、静電気を除去する措置を講ずること。</li> <li>がルブ操作 2号 ウ □ 開閉方向の明示 □ 開閉状況の明示 □ 流体方向の明示 □ 耐震設計の基準により、地震の影響に対して安全な構造とすること。</li> <li>自動切替装置 3号 □ 自動切替調整器 □ その他()</li> <li>18条</li> <li>発生能力等 2号 型 □ 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであること。 (規格は別表)</li> <li>腐しょく・割れ等 5号 □ バルブ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しょく・割れ等がないものであること。</li> <li>名称 使用材料 腐しょく防止の方法 バルブ 集合管 供給管</li> <li>機手類</li> </ul>	バルグ	2号ソ	
<ul> <li>冷却用散水装置 2号 オ 操作位置距離 m ※図面計算書添付</li></ul>	緊急遮断装置	2号ツ	操作場所( )距離 m
<ul> <li>静電気の防止</li> <li>2号ラ</li> <li>「貯槽には、静電気を除去する措置を講ずること。</li> <li>「開閉方向の明示 開閉状況の明示 流体方向の明示 開閉状況の明示 流体方向の明示 温神により、地震の影響に対して安全な構造とすること。</li> <li>自動切替装置</li> <li>3号</li> <li>自動切替調整器 □ その他( )</li> <li>財蔵設備は最大使用数量に対応するものであること。</li> <li>気化装置及び調整器は最大消費数量に対応できる能力があること。(規格は別表)</li> <li>「バルブ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しょく・割れ等がないものであること。</li> <li>を用材料 腐しょく防止の方法がルブ</li> <li>集合管 供給管</li> <li>機手類</li> </ul>	冷却用散水装置	2号 ネ	
ボルブ操作       2号ウ       開閉方向の明示 開閉状況の明示 流体方向の明示 流体方向の明示 流体方向の明示 流体方向の明示 流体方向の明示 流体方向の明示 流体方向の明示 記憶 計算 記憶 計算 記憶 に対して安全 な構造とすること。         自動切替装置       3号 自動切替調整器 こその他( )	漏えい検知警報器	2号ナ	
バルブ操作       2号ウ       開閉状況の明示	静電気の防止	2号ラ	□ 貯槽には、静電気を除去する措置を講ずること。
耐 震 設 計 25 年 な構造とすること。   自動 切 替 装 置 3号 □ 自動切替調整器 □ その他( )   18条 □ 貯蔵設備は最大使用数量に対応するものであること。   気化装置及び調整器は最大消費数量に対応できる能力があること。 (規格は別表) □ バルブ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しょく・割れ等がないものであること。   名 称 使用材料 腐しょく防止の方法バルブ   集合管   供給管   機手類	バルブ操作	2号 ウ	□ 開閉状況の明示
2	耐 震 設 計	2号 ヰ	
発生能力等     と。 気化装置及び調整器は最大消費数量に対応できる能力があること。(規格は別表)       腐しょく・割れ等     5号     □ バルプ、集合装置、供給管、ガス栓は、使用上支障のある腐しょく・割れ等がないものであること。       名称 使用材料 腐しょく防止の方法バルブ 集合管供給管 機手類     ※	自動切替装置	3号	□ 自動切替調整器 □ その他( )
4号	~ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	18条	
腐しよく・割れ等     5号       はよく・割れ等がないものであること。       名 称 使用材料 腐しよく防止の方法       バルブ       集合管 供給管 継手類	). <u>T. 110 )</u> , (1	4号	
腐しょく防止措置     名 称 使用材料 腐しょく防止の方法 バルブ 集合管 供給管 継手類	腐しょく・割れ等	5号	
	腐しょく防止措置	6 号	名 称     使用材料     腐しょく防止の方法       バルブ     集合管       供給管
	使 用 材 料	7 号	

耐圧性能	8	ティ	□ 2.6MP	a以上であるもの				
	中圧側		8号ロハ □ 0.8MPa以上であるもの					
		·						
引張り	強さ	8号	=	□ 1 K N 以上であるもの				
集合装置等の修理			イ	□ 漏えい防止措置を講ずること。				
		口	□ 漏えいし	ていないことを	確認すること。			
			ハ	□ 修理終了後、漏えい確認をすること。				
漏 え い	試 験	10号		□ 漏えい試	:験に合格するもの	か		
			イ	□ 腐しょく	、割れ等がない	もの	*	
			П	<ul><li>□ 2.6MPaの耐圧試験に合格するもの</li><li>図</li></ul>				
気 化	装 置	19号	ハ	□ 加熱方式 ( 面				
X( 1L	衣旦	19万	=	□ 液状のガス流出防止措置のあるもの 別				
			ホ	□ 凍結防止措置のあるもの 添				
調整	器		イ	□ 腐しょく	、割れ等がなく値	吏用する液器石	油ガスの規	
(2次側 有	•				したものであるこ		_	
(2)(0,1)	<i>/</i> /// /	20号		使用箇所	耐圧試験圧力	気密試験圧	力	
			口	1次側	□ 2.6MPa	□ 1.56MPa		
				2 次側	□ 0.8MPa	□ 0.15MPa		
				□ 調整圧力 KPa ~ KPa				
				□ 閉そく圧	五 KP:	a		
緊急遮	奸 装 直	21号						
設備の	種 類							
	容 器	設置	数量	(	) Kg容器 ×	( ) 本		
	( ) Kg容器 × ( ) 本							
貯蔵設備	公称貯蔵量( ) トン 設計圧力( ) MPa							
	貯 槽	内容積 ( ) m <sup>3</sup> 製造番号 ( )						
						※図面添	付	
気 化 器 型式				)	処理能力(	) Kg/H		
		番号ハ		) 製造年月( <u></u>				
	<u>区</u> 型	<u>分</u>		側	2 次 側			
調整器					77 / 17		I/ / II	
		処理能力			Kg/H		Kg/H	

年

月

年

月

□ 2.6MPa以上であるもの

## (記載要領)

1. 該当しない欄は抹消すること。

高圧側

8号イ

2. 対応事項は、必要によって別紙に説明書を添付すること。

製造年月

3. 該当する□には✔を付し、( ) には数値又は説明を記入すること。